

第 6 号

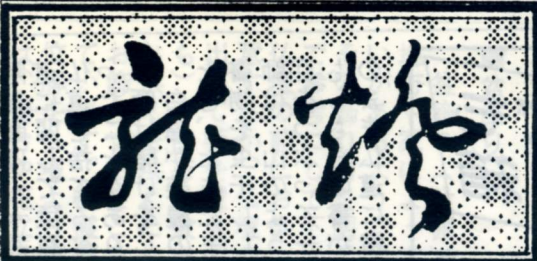
発行所

大阪市史跡 龍溪禪師墓所
靈龜山 九 島 禅 院

〒550 大阪市西区本田 3丁目4-18

発行人

住 職 奥 田 啓 知 (智證)
☎06-582-5772



千代の富士の引退

莫妄想！決断せよ

そしてあきらめよ

千代の富士は土俵を下り、安倍晋太郎さんは政界を去った。列車惨事で世界陶芸祭は十一日間の会期を残して突然中止となった。去る五月のことです。

前人未踏の一千勝を超すという大記録を立て、さらに優勝回数で大鵬のもつ史上最高の三十二回にあと一回で並ぶところまできていながら、千代の富士は土俵を下りました。

「小さな大横綱」といわれたように、体格上のハンディを背負いながら、度重なる脱臼や骨折、肉離れなどのけがで十数回も挫折、足踏みを繰り返しながら努力と節制で克服しました。今度こそ駄目だと言われながらその度に奇跡のように復活。それ故に、今回の引退は電撃的に日本列島を駆け抜けました。

人生の岐路に立った時、人は決断に迫られます。甲にしようか乙にしようか。迷ってしまいがちです。迷いに迷って、意志決定ができないでいることがよくあ

ります。大横綱・大鵬の記録に迫りながら、「体力の限界」と言い切り、いさぎよく土俵を下ってよい爽やかな引退でした。

しかし、その決断はなかなか難しいものだったと思います。小柄も高校を退職する時、悩みました。十六年の教師生活は簡単に捨てられるものではありません。教師とは、なかなか魅力のある職業です。いろいろな思い出もあります。それに、現実的には、あと四年で年金の支給資格も得られます。残念でした。

でも、決断しました。『莫妄想（まくもうぞう）』という禅の言葉があります。「くだらない妄想をするな」という意味の言葉です。あれこれ妄想して、最後には判断がつかなくなってしまうのです。いつまでも、迷っている訳はおれません。自分自身が決断しなければなりません。自分自身が決断する以外、解決方法はな

いのです。では、どう決断すればよいのでしょうか。

どうしても自分で決断のつかない時は、サイコロでもふって決めればよいのです。しかし、サイコロをふる前に、あきらめておかねばなりません。どんな目かどうとも、それに従うときれいさっぱりあきらめておかねばなりません。迷いとは、つまりは、あきらめのなさなのです。あきらめるとは、私たちが日常に使っている「断念する」という意味の言葉ではありません。仏教でいうあきらめとは「真理を明らかにする」という意味なのです。いうならば、ある意味で「悟り」を開くことなのです。そして、あきらめられるんだとあきらめて、そこでする選択が「賭け」なのです。

江戸時代中期の禅僧で、日本臨濟宗の中興の祖といわれる白



